

次期「滋賀県農業・水産業基本計画」の策定に係る

県立農業系高校・農業大学校向け アンケート調査の結果について

1 調査目的

業界の将来を担う学生の意見を収集し、次期「滋賀県農業・水産業基本計画」の策定に資する。

2 内 容

職業としての農業に関するアンケート調査

3 回答期間

高校 令和6年6月3日～令和6年6月14日

農大 令和6年6月17日～令和6年6月28日

4 対 象

高校 県立農業系高等学校4校

湖南農業高校

甲南高校

八日市南高校

長浜農業高校

1～3年生 1,197名(うち農業系コース507名)

農大 県立農業大学校の学生 61名

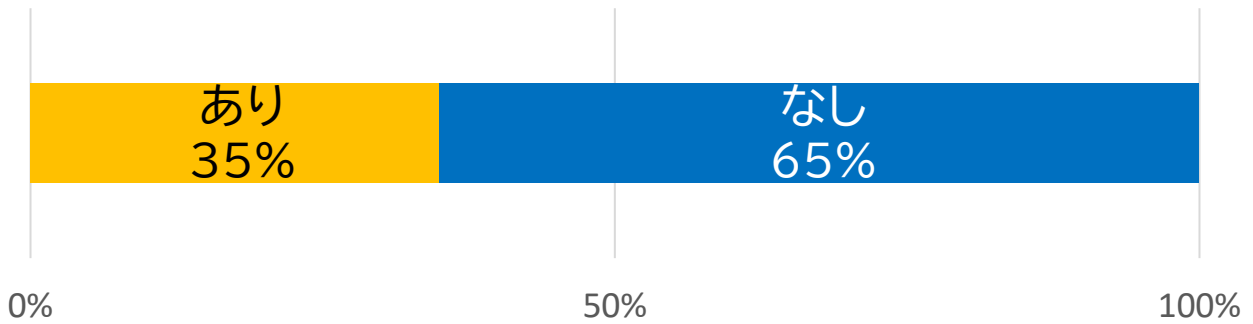
5 方 法

しがネット受付サービスおよび調査票

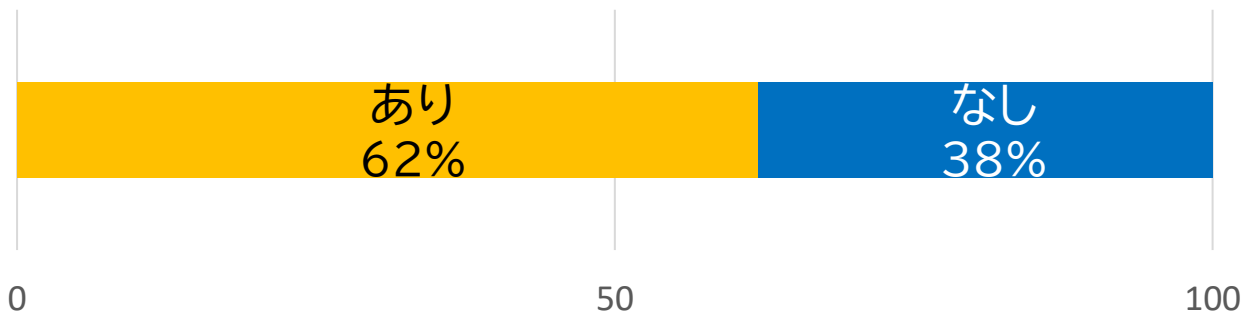
6 結果概要【高校】

回答 995名(回答率83.1%)

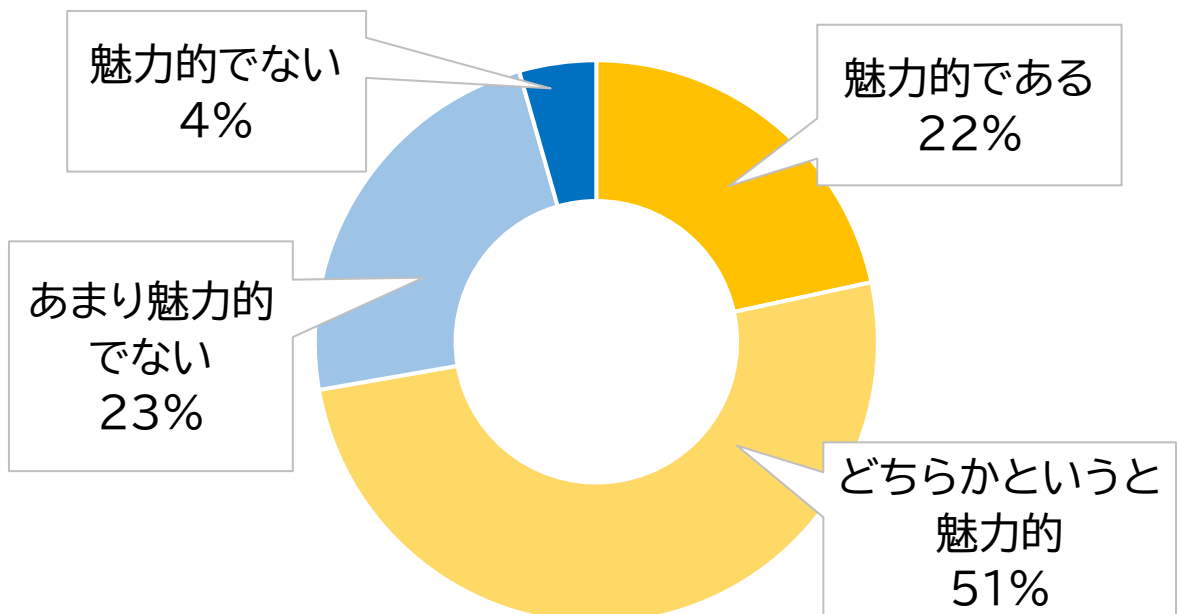
問1 職業として農業に興味はありますか



問2 今までに学校以外で農作業の経験はありますか

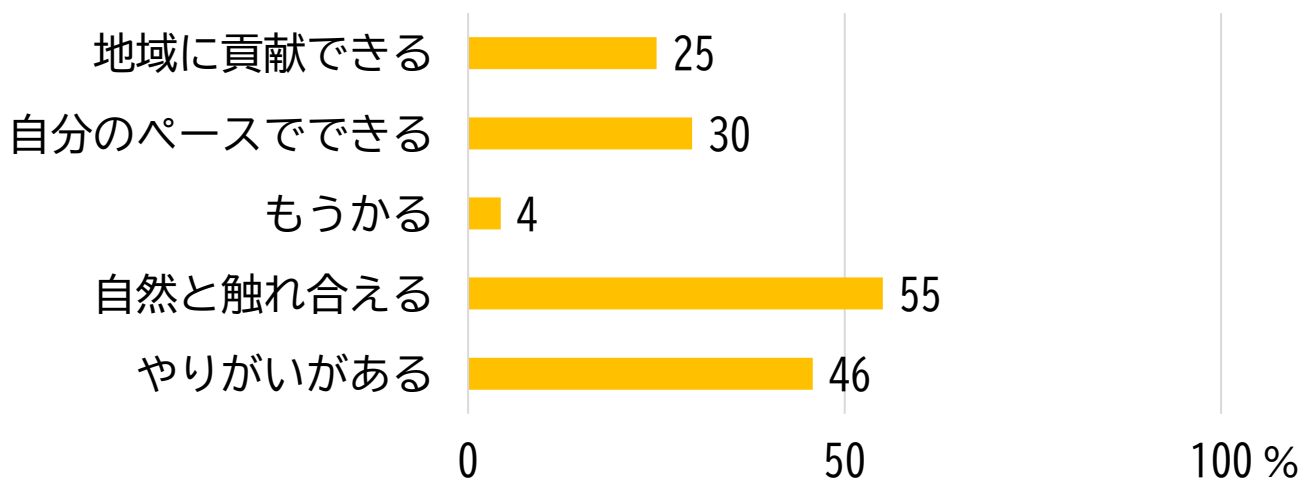


問3 職業の選択肢として農業の魅力はどの程度ですか



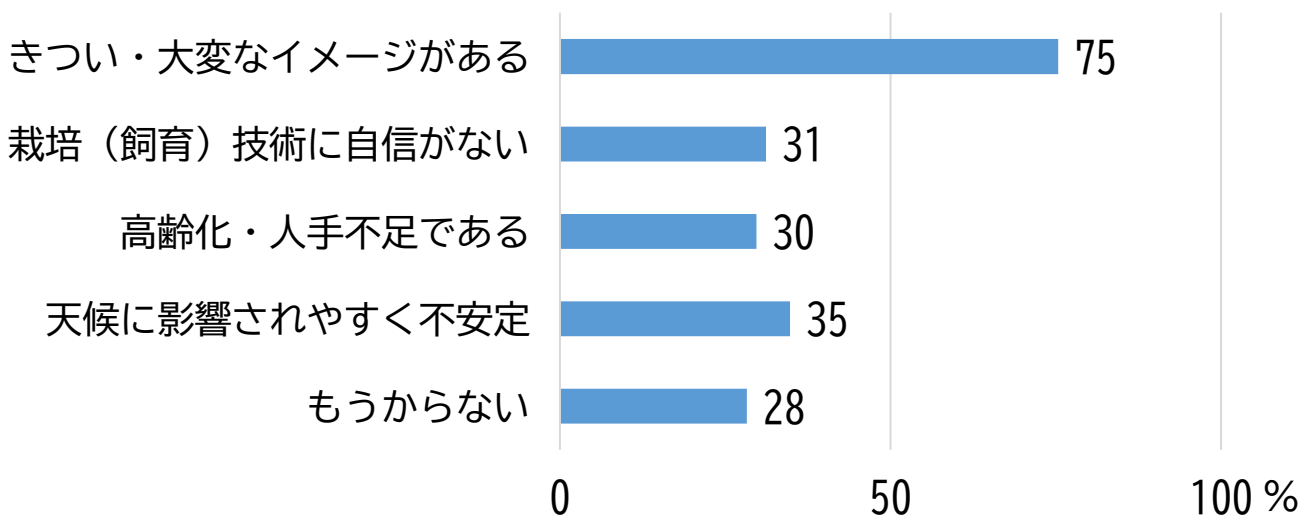
問4 (問3で魅力ありを選択した方)
農業が魅力的な理由は何ですか(複数選択)

魅力的な理由 (719名)



問4 (問3で魅力なしを選択した方)
農業が魅力的な理由は何ですか(複数選択)

魅力的でない理由 (276名)



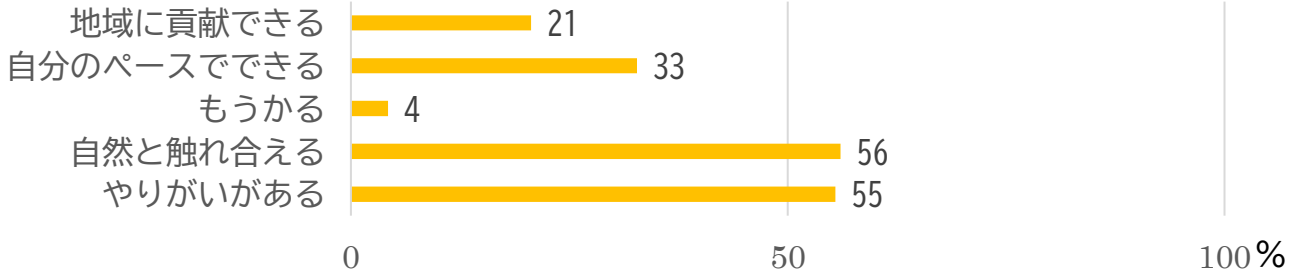
問5 滋賀県の農業に期待すること、 滋賀県の農業をよくするアイデア(自由記述)

農業体験を増やした方がいいと思う
若い人に農業の魅力を伝える
高齢化が増えているのでもう少し若者の農業従事者が増えたらいいなと思います
支援金もっと出して欲しい
気温上昇の観点などから人の手ですべきこともあるけれど、農業機械の自動化など人へ負荷があまりかからないようになっていけば良いと思う
お米
若い人が入れる環境にする
農家になりたいので、ガラス温室や、施設を建てるときに、補助金が欲しい。
田んぼ
滋賀県を代表できる野菜をつくる
どんな食品が作れるのか
地産地消をもっと取り入れて、地元の野菜の良さを知ってもらうために情報の提示やアピールをする。例えば、滋賀県の野菜でわさび菜や日野菜などがある。
すごく協力できですごく街にあっていい農業環境だと思います
滋賀県の農業は、近江牛やお米、あおばななど滋賀県だけの農業がある。
二酸化炭素排出量を抑え、環境に良い農業を行う点
農家の人が増えたら良いなと思った
もう少し簡単に気軽に農業体験みたいなことができる場所があるといいともいます。
ゴミ問題 地球温暖化？
農業体験を増やして欲しいです。
環境配慮
高校生のうちに農業に触れることができるから興味持つ人が増えるきたい
寄り良い農業のできる環境に期待
竹炭を多く生産しそれを使い排水や河川の水質浄化をしてほしいです。
効率を良くする
滋賀県は山に囲まれており、野生動物が多く生息しているので、滋賀県産の農作物と、滋賀県で獲れた鹿等の肉を使った新たな特産品を作る。
琵琶湖の豊富な水資源をいかしてイネ以外にも様々な栽培に力を入れてほしい。
滋賀県の特産品を、増やす。
これからはスマート農業になっていくのでスマート農業を取り入れる。
地産地消する
もっと多くの人に知ってもらえるように、農業を体験出来ることをしたらいいと思います。
いろんな体験が楽しめてとても楽しいです！
どの学校にも野菜を育てる文化を作る
色んなことが経験出来てめっちゃ楽しい
人手不足が怖い
農業体験をやる
自然を大切にす
たくさんの種類のものを育てる
たのしい
すごく賑やかに田んぼがある
AIを増やしたら人で不足を解消できると思う
農業をAI化したりして生産性を増やして行く
小さい子供も農業に興味を持てるような活動をする
これからも学校にとって、地域の方々にとっても、いいものを作り販売する
土地増やせばいい

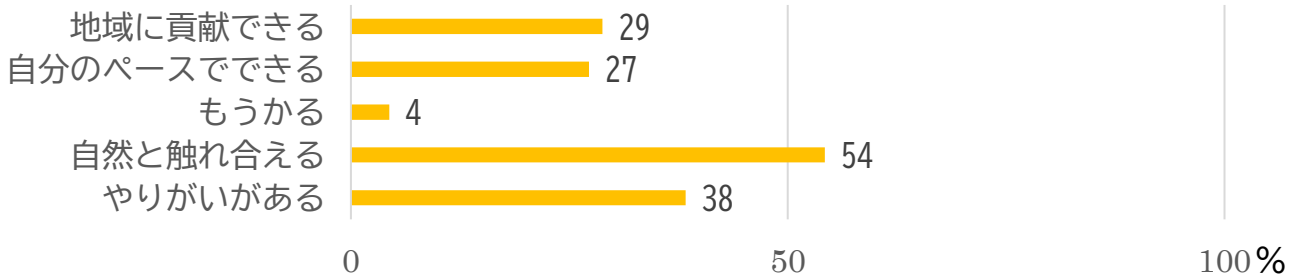
◆「農業の魅力」に関する分析 魅力ありの場合

職業としての興味×魅力

「職業として興味あり」かつ「魅力的」 (330名)

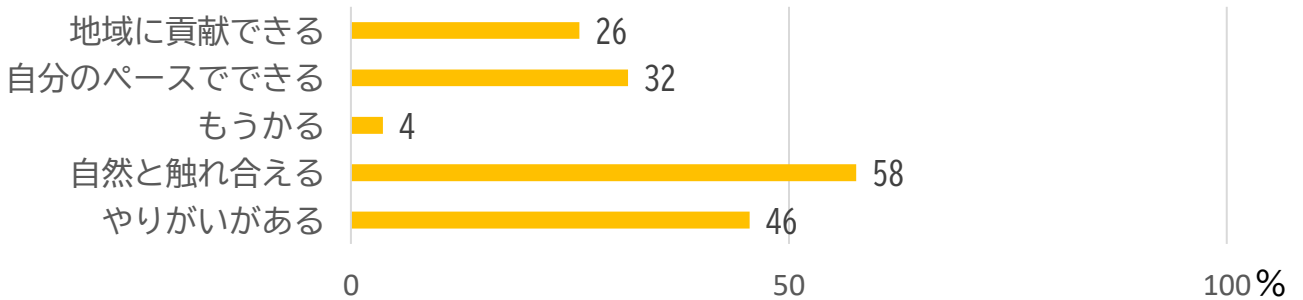


「職業として興味なし」かつ「魅力的」 (389名)

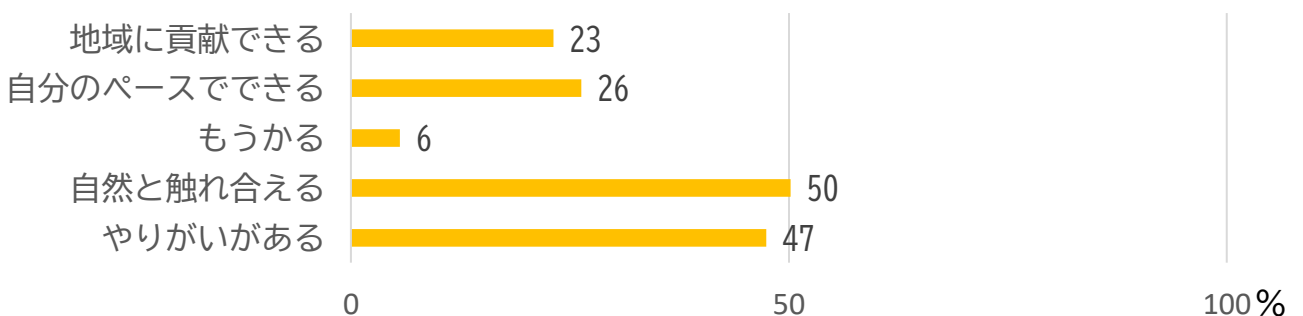


学校以外での農業体験×魅力

「農業体験あり」かつ「魅力的」 (468名)



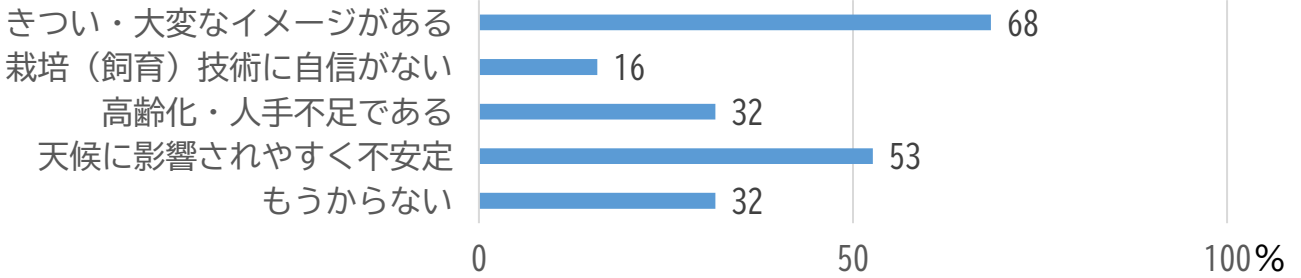
「農業体験なし」かつ「魅力的」 (251名)



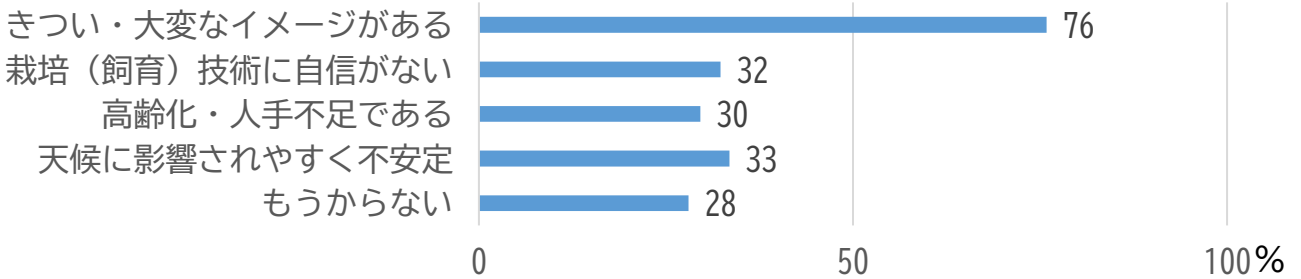
◆「農業の魅力」に関する分析 魅力なしの場合

職業としての興味×魅力

「職業として興味あり」かつ「魅力的でない」(19名)

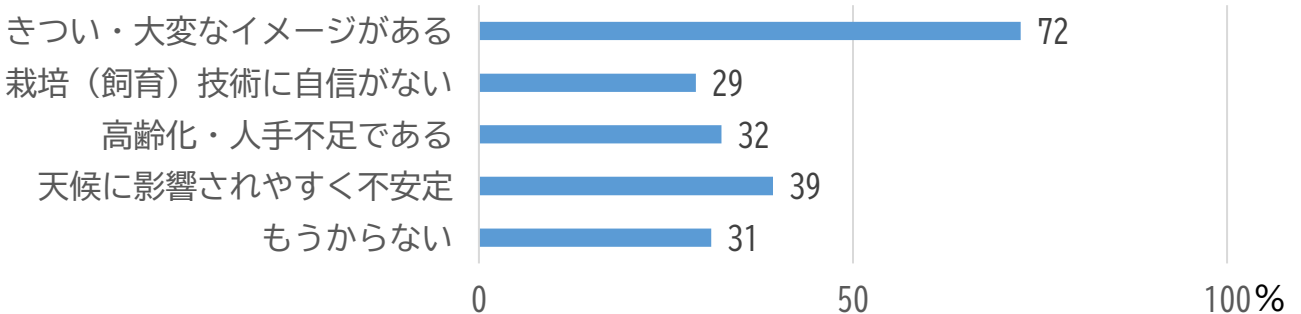


「職業として興味なし」かつ「魅力的でない」(257名)

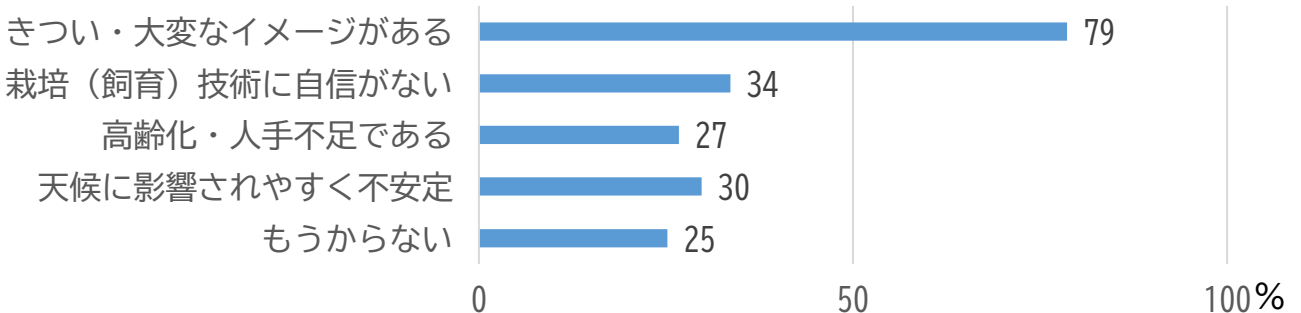


学校以外での農業体験×魅力

「農業体験あり」かつ「魅力的でない」(145名)



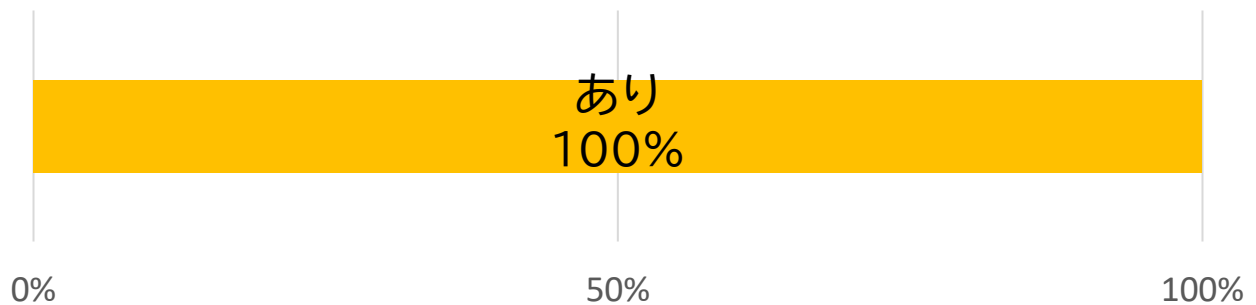
「農業体験なし」かつ「魅力的でない」(131名)



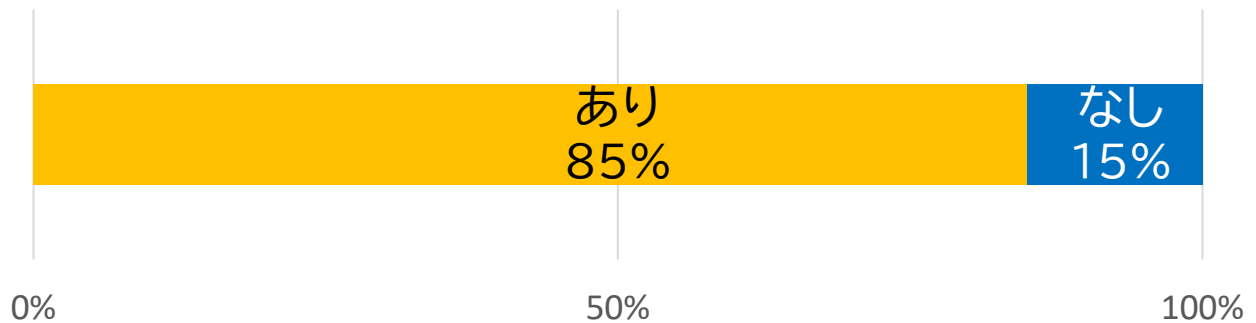
6 結果概要【農大】

回答 41名(回答率67.2%)

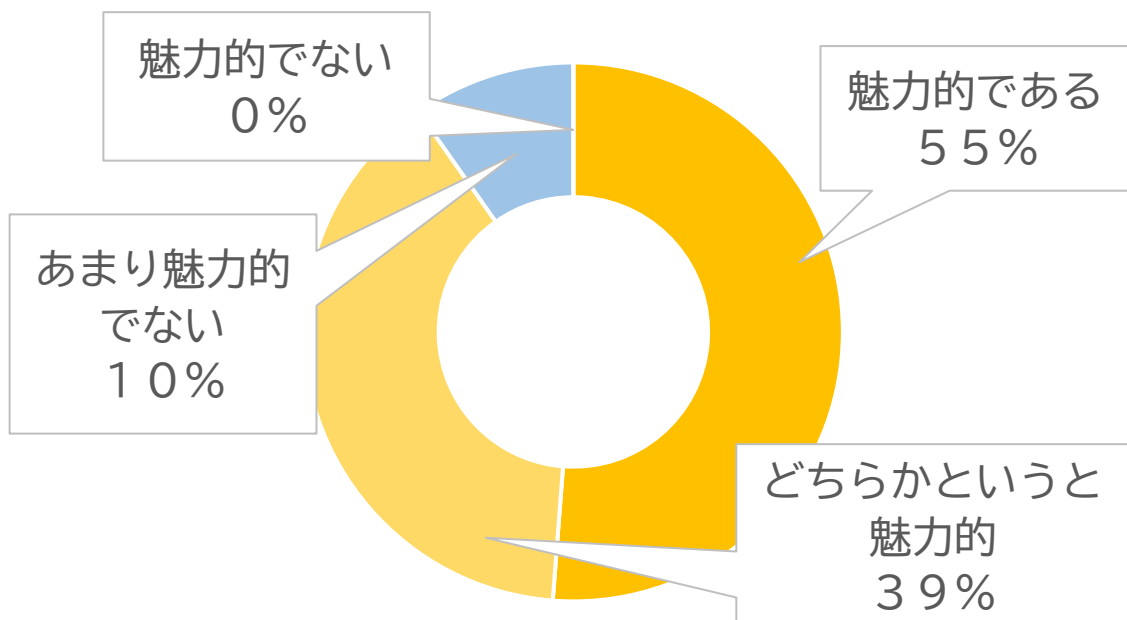
問1 職業として農業に興味はありますか



問2 今までに学校以外で農作業の経験はありますか

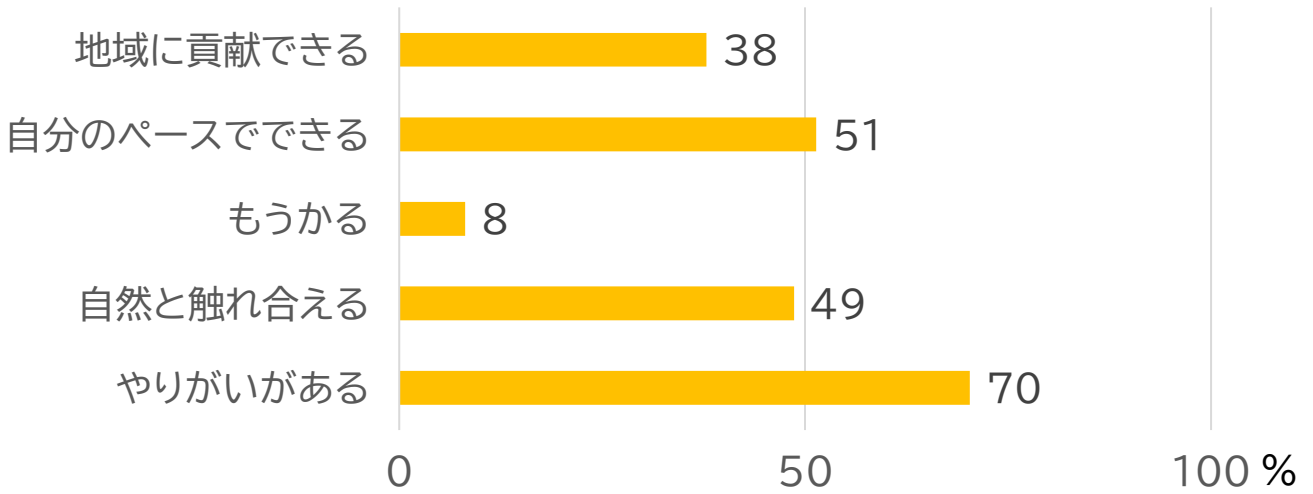


問3 職業の選択肢として農業の魅力はどの程度ですか



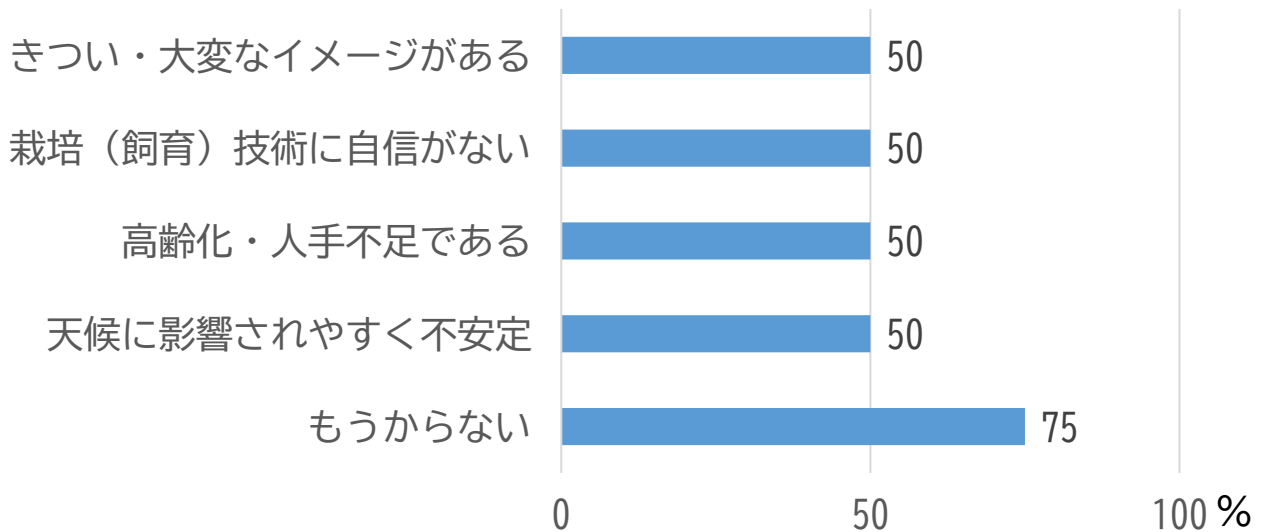
問4 (問3で魅力ありを選択した方)
農業が魅力的な理由は何ですか(複数選択)

魅力的な理由(37名)



問4 (問3で魅力なしを選択した方)
農業が魅力的な理由は何ですか(複数選択)

魅力的でない理由(4名)



問5 滋賀県の農業・水産業の魅力、強みと思われることは何ですか(自由記述)

強みがあまり感じられないが、強いて言えば都市部との距離後継者不足により離農が増えているため、大規模農業が可能
自分が作ったものを人に販売し、お金を稼げること！
琵琶湖がある。
関東、関西どちらにもアクセスが便利
美味しい米がとれる
米が美味しい
水稲地が広い
自給自足できる
水田に適した土壌と最先端の水稲技術
自然豊かでお米が美味しい
米の生産が盛んで、滋賀県独自の品種がある
農家さんが多いので助け合いができると思った
琵琶湖からの豊富な水資源があること。肥沃な大地があること。
滋賀県の農業は、琵琶湖の水を使っているのので県の作物として誇りに思う。
びわこがある
米・畜産
自分で育てたものを人に食べてもらえる
米の産地で、専用の機械もあるので、そこが強みだと思う。
琵琶湖があり水資源が多いこと
化学肥料や農薬を減らした作物をつくるなどの環境に配慮した農業を行っていること。
米を作れる
水田の多さとそれに関わる農業従事者の技術と知識
滋賀独自の技術や栽培
地域の人と交流できる
びわこ、水、田んぼ、立地
琵琶湖を使った商品ブランド
自然がゆたか
水資源が豊富なので、水稲栽培で水が枯渇する心配がないところ
水田農業が盛んで全国的に見ても水田率が高いこと。琵琶湖の水のきれいさを保つために、化学農薬などの削減に力を入れていること。
びわこ
水田面積が多く、水稲だけでなく露地野菜、小麦、大豆など水田の有効利用が可能になると思われる
琵琶湖の豊富な水資源を活かした稲作や、かつての水田を利用した麦・大豆・露地野菜の栽培
滋賀県は、水稲の土地が全国で2位の広さであることが魅力であり、有機農業でしか育てられないお米も出てきているので、水稲が魅力だと思いました。
湖がある
水田がほうふ
びわ湖がある
水がきれい
水が豊富
水が多いので、水産業・農業としての強みがある。びわこがある。ふな寿司がある。
琵琶湖がある。

問6 滋賀県の農業・水産業の課題、弱みと思われることは何ですか(自由記述)

1、認知度
2、海に面していないので、海産物が少ない
3、米の味が他県に勝るものではないので、対抗できない
4、高温多湿、冬の気温が低く温暖ではないので、愛知、和歌山の農作物が作りづらい
資材費、肥料費高騰で離農者が増えること
水質
滋賀農大の予算が少ない
滋賀農大の機械が親と同年か、自分より年上
圧倒的に機械が古い新しい機械がない
お金がない
お金が無い
機械が高い
有機栽培への行政支援の不十分さと農業と学校教育との連携の低さ
滋賀にお米のイメージがあまりない
農家の高齢化や人手不足が課題だと思う
滋賀県だけではないですが、高齢化が進んでいると思う
野菜や果樹がやや作りにくいこと。果樹の生産量が少ないこと。
後継者がいない。
水田に力を入れすぎ
果樹・びわ湖にいる外来種
高齢化と人手不足
土壌が水田むきなので、他の植物(野菜・果樹等)が育てるのが難しい時期があること。
人手不足
水田以外の品目が全国の中でもかなり低い生産量であること。
食料の生産が下がることがある
水田が多いゆえの畑の少なさ
農作地がそもそも少ない
高齢化が進んでおり、担い手不足なこと
田んぼの多さ
高齢化対策。
果樹の生産量が少ない
土に水分が多く含まれるため、畑作や果樹に向かないところ
水田以外の品目が全国的に低いこと。
県民性かもしれないが新しいものにチャレンジすることが少ないのでは感じる。野菜・果樹の面積が少ないのもこのへんに原因があるのではと思っている。
稲作だけに頼りすぎているところや、担い手不足の問題
農業従事者の全体的な高齢化や、減少だったり、次の担い手不足が課題・弱みだなと思いました。
人手不足・高齢化
もうからない
水に薬剤を流せない
田んぼしかない
特産が弱い
田んぼしかできない立地

問7 滋賀県の農業に期待すること、 滋賀県の農業をよくするアイデア(自由記述)

他県にはないような農産物を栽培すること。
滋賀では、その農産物を作る農家が減っているが、全国的に見ても特化した農業者がいる。その部分を県としてアピールするべきと考える。
6次産業化を増やすこと！
農大と県民次第
工業地と農業地のバランス次第
お金増やして欲しいです
古来から有数の穀倉地帯として培った技術を活かして有機栽培への転換を支援してほしい。
交付金など農家を支援する制度に期待したい
お米以外の農産物をどんどん生産する
果樹をもっと増やせたら良いと思っています。
いろんな野菜を増やして欲しい
水田プラスαの複合経営を営農単位で、教育研修制度の確立で新規就農者を目指す人材の育成と増加
農作物の値段が安定して欲しい
スマート農業による省力化を推進する
水田をもっと盛んに取り組んで欲しい。
行政主導による農作物の販路確保
スマート農業を普及する
補助金・情報共有
若者に支援をたくさんしてほしい